

# シスコ コラボレーション ソリューション: Microsoft v2 との相互運用性 – Microsoft Skype for Business

最終更新日: 2017 年 12 月 8 日

## このデモンストレーションについて

このデモンストレーションでは、シスコのコラボレーション ソリューションで使用できる機能によって、全社的に生産性を向上させ、コミュニケーションを改善する方法を示します。

- [要件](#)
- [このソリューションについて](#)
- [トポロジ](#)
- [セッション ユーザ](#)
- [はじめに](#)
- [シナリオ 1: Microsoft Skype for Business と Cisco Unified Communications の相互運用性](#)
- [シナリオ 2: Skype for Business を利用したワンボタン機能 \(OBTP\) による会議](#)

## 要件

次の表に、本デモンストレーションに必要な要件の概要を示します。

表 1. 要件

必須	オプション
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco AnyConnect がインストールされているラップトップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 台目のラップトップ</li> <li>• ルータ (Cisco dCloud 用に登録および設定済み)</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 88XX または 89XX</li> <li>• Cisco DX70 または DX80 デバイス</li> <li>• Cisco SX10 または SX20 ルーム システム</li> </ul>

## このシスコ ソリューションについて

**Cisco Jabber** は **Cisco Unified Communications** インフラストラクチャに必須のコンポーネントで、音声、ビデオ、メッセージング、およびプレゼンス機能を幅広いデバイスのソフトウェア ソリューションとして提供します。Cisco Unified Communications アーキテクチャにおける Cisco Jabber および Cisco UC ハードウェア エンドポイントの機能のうち、あまり知られていないものの 1 つは、Microsoft 環境内の Microsoft Skype for Business クライアントと共存できるという機能です。

このデモンストレーションでは、Cisco UC デバイスの音声、ビデオ、メッセージング、およびプレゼンス機能が、Microsoft Skype for Business と通信する際にフル稼働する方法について説明します。これは特に、大規模な Microsoft 環境内に Cisco Jabber を導入する場合や、Microsoft ソリューションを Cisco Unified Communications ソリューションに移行する場合に重要です。豊富なコラボレーション機能をすべて使用できることが分かれば、お客様はこのハイブリッド ソリューションを自信を持って導入でき、従業員はサービスや機能を中断させることなく希望のソリューションを使用できます。同僚、パートナー、ベンダー、および顧客は、必要な情報と専門知識にアクセスできます。

Cisco Unified Communications の詳細については、<http://www.cisco.com/go/uc> をご覧ください。

## トポロジ

このデモンストレーションには、いくつかのエンタープライズ サーバ VM が含まれます。ほとんどのサーバは、管理者レベルのアカウントを使うことで自由に設定できます。管理者アカウントの詳細については、関連するスクリプトの手順およびサーバ詳細表で説明しています。

図 1. デモンストレーションのトポロジ概要

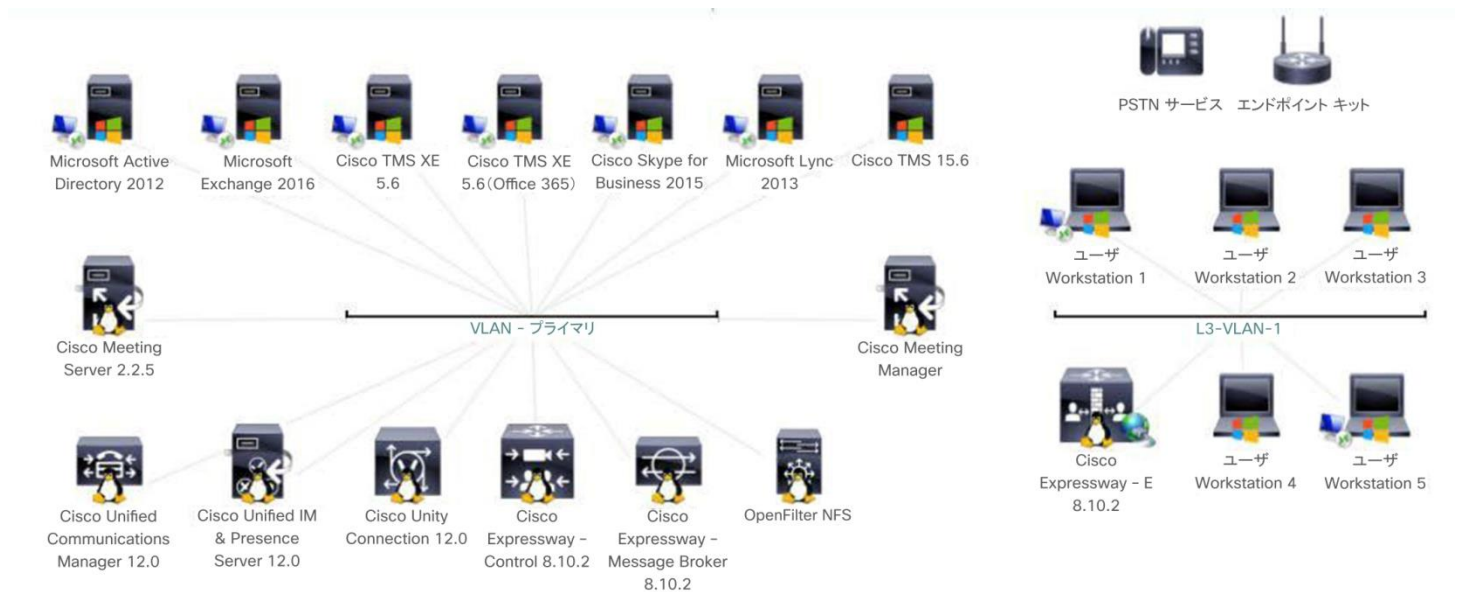


表 2. デモンストレーション サーバ情報

アプリケーション	バージョン	URL	ユーザ名	パスワード
Microsoft Active Directory サーバ	2012	198.18.133.1	Administrator	C1sco12345
Microsoft Exchange Server	2016	198.18.133.2	Administrator	C1sco12345
Cisco Unified Communications Manager	12.0.1.10000-10	<a href="https://cucm1.dcloud.cisco.com">https://cucm1.dcloud.cisco.com</a>	administrator	dCloud123!
Cisco Unified IM/Presence サーバ	12.0.1.10000-12	<a href="https://cup1.dcloud.cisco.com">https://cup1.dcloud.cisco.com</a>	administrator	dCloud123!
Cisco Unity Connection サーバ	12.0.1.10000-8	<a href="https://cuc1.dcloud.cisco.com">https://cuc1.dcloud.cisco.com</a>	administrator	dCloud123!
Cisco TelePresence Management Suite	15.6	<a href="https://tms1.dcloud.cisco.com">https://tms1.dcloud.cisco.com</a>	administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Management Suite Extension for MS	5.6	198.18.135.36	administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Management Suite Extension for O365	5.6	198.18.135.87	administrator	C1sco12345
Cisco Expressway Server - C	X8.10.2	<a href="https://vcsc.dcloud.cisco.com">https://vcsc.dcloud.cisco.com</a>	admin	dCloud123!
Cisco Expressway Server - E	X8.10.2	<a href="https://vcse.dcloud.cisco.com">https://vcse.dcloud.cisco.com</a>	admin	dCloud123!
Cisco Expressway Server - Message Broker	X8.10.2	<a href="https://vcs-mb.dcloud.cisco.com">https://vcs-mb.dcloud.cisco.com</a>	admin	dCloud123!
Cisco Meeting Server	2.2.7	<a href="https://198.18.134.175:445">https://198.18.134.175:445</a>	admin	dCloud123!
Cisco Meeting Manager	1.0.0.44	<a href="https://cmm.dcloud.cisco.com">https://cmm.dcloud.cisco.com</a>	administrator	C1sco12345
OpenFiler NFS	ESA 2.99.1	198.18.135.39	openfiler	dCloud123!
Microsoft Lync 2013	2013	198.18.133.161	dcloud\administrator	C1sco12345
Microsoft Skype for Business 2015	2015	198.18.134.244	dcloud\administrator	C1sco12345
Workstation 1	Windows 10 Pro N	198.18.1.36	DCLOUD\amckenzie	dCloud12345!
Workstation 2	Windows 10 Pro N	198.18.1.37	DCLOUD\aperez	dCloud12345!
Workstation 3	Windows 10 Pro N	198.18.1.38	DCLOUD\mcheng	dCloud12345!
Workstation 4	Windows 10 Pro N	198.18.1.39	DCLOUD\wwhitman	dCloud12345!
Workstation 5	Windows 10 Pro N	198.18.1.40	DCLOUD\cholland	dCloud12345!

## 事前設定済みのユーザ

このコンテンツには、ソリューションの機能を実例で示すために事前設定されたユーザとコンポーネントが含まれています。コンポーネントのほとんどは、事前定義の管理ユーザ アカウントを使用して任意の設定が可能です。コンポーネントへのアクセスに使用する IP アドレスとアカウント クレデンシャルは、アクティブ セッションの [トポロジ (Topology)] メニューのアイコンをクリックして確認するか、それらを必要とするシナリオ内の手順で確認できます。

表 3. デモンストレーションの事前設定ユーザ情報

ユーザ名	ユーザ ID	パスワード	ロール	エンドポイント デバイス	URI
Adam McKenzie	amckenzie	dCloud12345!	セールス エンジニア	任意の Cisco EX、DX、または SX デバイス 任意の Cisco 88XX または 89XX シリーズ IP Phone Workstation 1 (Cisco Jabber for Windows を使用)	amckenzie@dcloud.cisco.com
Monica Cheng	mcheng	dCloud12345!	テクニカル サポート エンジニア	Workstation 3 (Microsoft Skype for Business を使用)	mcheng@dcloud.cisco.com
Charles Holland	cholland	dCloud12345!	テクニカル サポート エンジニア	任意の Cisco EX、DX、または SX デバイス 任意の Cisco 88XX または 89XX シリーズ IP Phone Workstation 5 (Cisco Jabber for Windows を使用)	cholland@dcloud.cisco.com

**注:** 表 3 に記載されているデバイスは、事前設定済みのシナリオに基づく推奨デバイスです。Cisco Unified Communications Manager にはセルフプロビジョニング機能が搭載されているため、利用可能であれば、任意のデバイスを任意のユーザに割り当てることができます。

## はじめに

### デモンストレーションの前に

Cisco dCloud では、実際の対象者の前でプレゼンテーションを行う前に、アクティブなセッションを使用して、このドキュメントのタスクを実施しておくことを強く推奨します。そうすることで、ドキュメントとコンテンツの構成に慣れることができます。

場合によっては、環境を元の構成にリセットするため、このガイドに従った後に新しいセッションをスケジュールする必要があります。

**お客様向けプレゼンテーションを成功させるためには、入念な準備が不可欠です。**

次の手順に従ってデモンストレーションのスケジュールを組み、デモンストレーション環境を設定します。

1. dCloud セッションを開始します。[\[手順を見る\]](#)

**注:セッションがアクティブになるまで最長で 45 分かかります。**

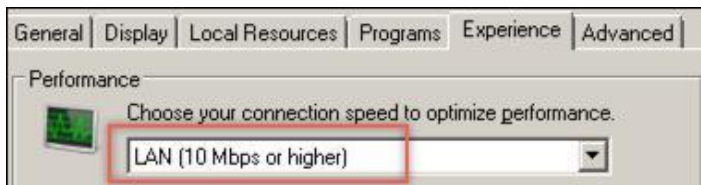
2. [表示 (View)] をクリックして、アクティブ セッションを開きます。
3. **オプション:** ルータとラップトップを接続します。[\[手順を見る\]](#)
4. ルータ経由で接続する場合は、次の手順に進んでください。スタンドアロンのラップトップからセッションに接続する場合は、ラップトップに **Cisco AnyConnect** をインストールし、Cisco dCloud UI で AnyConnect のクレデンシャルを使ってアクセスします。  
[\[手順を見る\]](#)
5. **Cisco AnyConnect VPN** [\[手順を見る\]](#) およびラップトップ上のローカル RDP クライアント[\[手順を見る\]](#) を使用してワークステーションに接続します。複数のラップトップ PC を使用する場合は、1 台ずつ各ワークステーションに接続します。以下の設定を使用して RDP を設定します。
  - [スタート (Start)] > [すべてのプログラム (All Programs)] > [アクセサリ (Accessories)] > [リモートデスクトップ接続 (Remote Desktop)] の順にクリックします。
  - [オプション (Options)] をクリックします。
  - [ローカルリソース (Local Resources)] タブを選択します。
  - [リモートオーディオ (Remote audio)] の [設定 (Settings)] をクリックします。
  - [リモートコンピュータで再生 (Play on remote computer)] を選択します。

図 2. 音声再生



- [OK] をクリックします。
- [エクスペリエンス (Experience)] タブをクリックします。
- 接続速度のメニューで [LAN (10Mbps以上) (LAN (10Mbps or higher))] を選択します。

図 3. LAN の接続速度



- [全般 (General)] タブをクリックし、接続先のホストに基づいて [コンピュータ (Computer)] フィールドと [ユーザ名 (Username)] フィールドに次の表の値を入力し、[接続 (Connect)] をクリックします。
  - **Workstation 1** – IP アドレス: **198.18.1.36**、ユーザ名: **dcloud\amckenzie**、パスワード: **dCloud12345!**
    - ログインするデスクトップ上の Cisco Jabber アイコンと Microsoft Outlook アイコンをダブルクリックします。
  - **Workstation 3** – IP アドレス: **198.18.1.38**、ユーザ名: **dcloud\mcheng**、パスワード: **dCloud12345!**
    - ログインするデスクトップ上の Microsoft Skype for Business アイコンと Outlook アイコンをダブルクリックします。
  - **Workstation 5** – IP アドレス: **198.18.1.40**、ユーザ名: **dcloud\cholland**、パスワード: **dCloud12345!**
    - ログインするデスクトップ上の Cisco Jabber アイコンと Microsoft Outlook アイコンをダブルクリックします。
6. **オプション:** デモンストレーション用ワークステーション クライアントではなく、**WebRTC クライアントを Cisco Meeting Server** に表示する場合は、Chrome Web ブラウザを開いて <https://join.dcloud.cisco.com> に移動し、[amckenzie@dcloud.cisco.com](mailto:amckenzie@dcloud.cisco.com) にパスワード: **dCloud12345!** を使用してログインしてください。Cisco Meeting Server および WebRTC の詳細については、Cisco dCloud [製品データシート](#)をご覧ください。必要に応じて、ご使用のスマートフォンで **IOS または Android 向けの Cisco Meeting Server アプリ**を使用することもできます。

7. **オプション:**このデモンストレーションの Collaboration Edge 機能を利用する場合は、それらの機能が適切にプロビジョニングされていることを確認してください。

- Workstation 1 から Firefox を開き、[コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] > [Cisco Video Conferencing Server - Control] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。表示される可能性のあるすべてのセキュリティメッセージを受け入れます。
- [設定 (Configuration)] > [ゾーン (Zones)] > [ゾーン (Zones)] タブをクリックし、2 つの **トラバーサル クライアント ゾーン (B2B および MRA)** の設定詳細情報で SIP ステータスが [アクティブ (Active)] と表示されていることを確認します。DefaultZone で SIP ステータスは [オン (ON)] と表示されます。

**注:**これらのゾーンの SIP ステータスが [アクティブ (Active)] でない場合は、デモンストレーション セッションの障害が発生し、先へ進むことができません。現在のセッションを終了し、新しいセッションを開始してください。これは、自動化エラーが原因で起こることがあります。

図 4. ゾーン ステータス

Name	Type	Calls	Bandwidth used	H323 status	SIP status	Search rule status	Actions
DefaultZone	Default zone	0	0 kbps	On	On		<a href="#">View/Edit</a>
CUCM Neighbor	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	Enabled search rules: 1	<a href="#">View</a>
CUCM Neighbor	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	Enabled search rules: 2	<a href="#">View/Edit</a>
VCS-e for B2B video Traversal client	Traversal client	0	0 kbps	Off	Active	Enabled search rules: 2	<a href="#">View/Edit</a>
VCS-E for MRA	Unified Communications traversal	0	0 kbps	Off	Active	No search rules configured	<a href="#">View/Edit</a>

8. **オプション:**MRA (モバイルおよびリモート アクセス) エンドポイントをプロビジョニングします。このデモンストレーション デバイスは、ホームオフィスなど、他のリモートの作業場所から会議通話に接続しています。この役割は、内線 6024 の **Tanya Adams** に割り当てられています。Tanya は、UCM 12.0 でサポートされているすべての Cisco Unified Communications を使用できます。[\[手順を見る\]](#)
9. **オプション:**Collaboration Edge 機能を使用していない場合は、このデモンストレーションで **Cisco Unified Communications Manager** の **セルフプロビジョニング** 機能を使用して、XYZ Corporate LAN 上の電話機をプロビジョニングしてください。[\[手順を見る\]](#)。電話のプロビジョニングには、表 3 の内線番号を使用します。
- **Adam McKenzie** は、内線 6016 で、表 1 にある任意のシスコ デバイスを使用できます。
10. **オプション:**B2B (ビジネス ツー ビジネス) エンドポイントのドメインを有効にします。このデバイスは、別の会社のオフィスより、社内ネットワークを使用して会議コールに接続しています。このエンドポイント デバイスは dCloud Cisco Unified CM に登録されていないため、インターネットを介して SIP コールを受発信できる場合に限り、**使用可能な任意のエンドポイント デバイス**を使用できます。[\[手順を見る\]](#)。このデモンストレーションでは、サードパーティのドメインとして、**cisco.com** ドメインを使用します。



11. シナリオ 2 に必須: TMS でルーム システムを見つけます。シスコでは、お客様向けプレゼンテーションのために、各地に物理的な会議室を確保しています。次に示すいずれかの場所でプレゼンテーションを行うかのようにこのデモンストレーションを実行する場合、エンドポイントを会議室自体に割り当てて、会議室の電話と同様に扱うことができます。これは、セッションに使用する物理的な会議室の**仮想インスタンス**です。デバイスを Cisco dCloud ルータに接続し、次の表に記載したセルフプロビジョニング ID を使用して、上記のセルフプロビジョニング手順に従います。[\[手順を見る\]](#) [英語]

表 4. 事前設定された会議室の電話

データセンター	会議室の場所	デバイス名/ユーザ名	電話番号	セルフプロビジョニング ID
Americas	New York - George Washington Bridge	USANYC	+19725556051	6051
Americas	RTP - Little House on Prairie	USARTP	+19725556052	6052
Americas	SJC - Johnnie Walker	USASJC	+19725556053	6053
Americas	Toronto - NIPISSING	CANTOR	+19725556054	6054
Americas	Vancouver - Hornby	CANVAN	+19725556055	6055
EMEAR	London - Piccadilly	UKLON	+19725556056	6056
EMEAR	Berlin - Brandenburger	GERBER	+19725556057	6057
EMEAR	Dublin - Galway	IREDUB	+19725556058	6058
EMEAR	Stockholm - Berzelius	SWESKM	+19725556059	6059
EMEAR	Madrid - Mulhacen	SPAMAD	+19725556060	6060
APJC	Singapore - Outram Park	SINORP	+19725556061	6061
APJC	Beijing - Great Wall	CHIBJG	+19725556062	6062
APJC	Shanghai - Gui Zhi Xiang	CHISHG	+19725556063	6063
APJC	Tokyo Rhode Island	JAPTOK	+19725556064	6064
APJC	RTP - Little House on Prairie	USANYC	+19725556051	6065

## セッションの保存

このデモンストレーションのカスタム バージョンを保存するには、次の手順に従う必要があります。カスタム バージョンを保存するには、次の手順に従います。デモのセットアップの一環としてこれを実施しないでください。これを実施するのは、セッションを終了したときのみです。

パブリックにルーティング可能な IP アドレスはデモ セッションごとにダイナミックに割り当てられるため、デモを保存し新しいインスタンスを起動すると、以前取得したものと異なるドメインおよび IP が割り当てられると想定されます。そのため、デモンストレーションを保存するたびに、下記の手順を繰り返す必要があります。この手順は、Collaboration Edge 関連の設定をリセットし、デモンストレーションを正しく保存できるよう準備するために実行する必要があります。

**重要:** 下記の手順に従わなかった場合は、保存されたデモンストレーションが破損し、Collaboration Edge 機能が動作しなくなります。このようなシナリオでは、保存されたデモンストレーションを修復できず、変更やカスタマイズがすべて失われます。

**注:** Workstation 2 を変更した場合、その変更がデモンストレーション ガイドに記載されている内容以外の場合は、保存プロセスが失敗する可能性があります。このような原因で破損したセッションは回復不能です。

1. ラップトップ上のローカル RDP クライアントを使用して、デモンストレーション用の **Workstation 2** (198.18.1.37) にアクセスします。  
[手順を見る]。ユーザ名: **dcloud\laperez**、パスワード: **dCloud12345!** でログインします。
2. CMD コンソール ウィンドウを開き、**ResetCerts** と入力します。
3. Collab Edge 証明書のリセットには 15 ~ 20 分かかります。プロセスが終了するまで何も行わないでください。特に、スクリプトが完了するまでは、Workstation 2 の操作はしないでください。
4. AD スクリプトのリセット: AD1 サーバ(198.18.133.1)に RDP 接続します。ユーザ名: **DCLLOUD\administrator**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。
5. タスクバーからファイル エクスプローラを開き、**C:\dcloud** に移動します。
6. ファイル **resetUPN.ps1** を右クリックし、[PowerShellで実行(Run with PowerShell)] をクリックします。
7. Mail スクリプトのリセット: Exchange サーバ(198.18.133.2)に RDP 接続します。ユーザ名: **DCLLOUD\administrator**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。
8. タスクバーからファイル エクスプローラを開き、**C:\dcloud** に移動します。
9. ファイル **reset\_exchange.ps1** を右クリックし、[PowerShellで実行(Run with PowerShell)] をクリックします。
10. Workstation 2 から Firefox ブラウザ セッションを開き、[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] > [Cisco Video Conferencing Server - Control] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。表示される可能性のあるすべてのセキュリティ メッセージを受け入れます。
11. [設定(Configuration)] > [ゾーン(Zones)] > [ゾーン(Zones)] タブをクリックし、2 つのトラバーサル クライアント ゾーンのいずれかをクリックします。設定の詳細情報に SIP ステータスが [失敗(Failed)] と表示されることを確認します。
12. ピア 1 アドレスは、**vcse.(collabedge- または cb)999.dc-YY.com** である必要があります。YY はデータセンターに依存し、01 は AMER、02 は EMEAR、03 は APJ です。

図 5. ゾーン設定



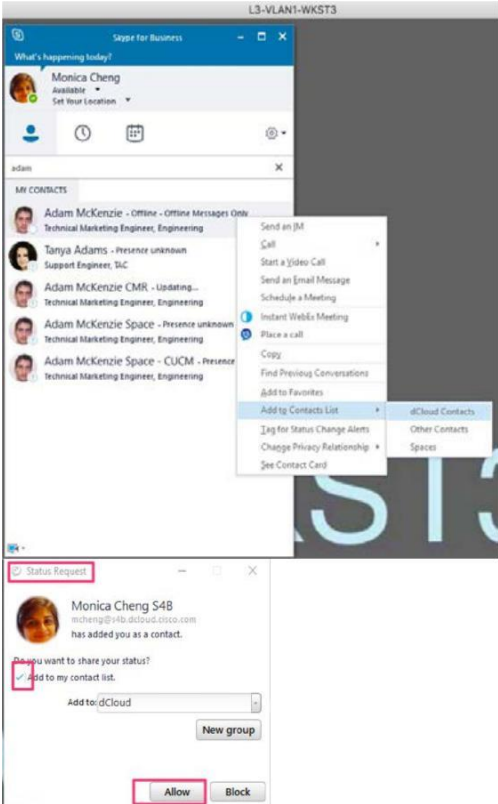
13. これで通常のデモ保存プロセスを続行できます。詳細については、Cisco dCloud の [ヘルプ ページ](#) [英語] を参照してください。




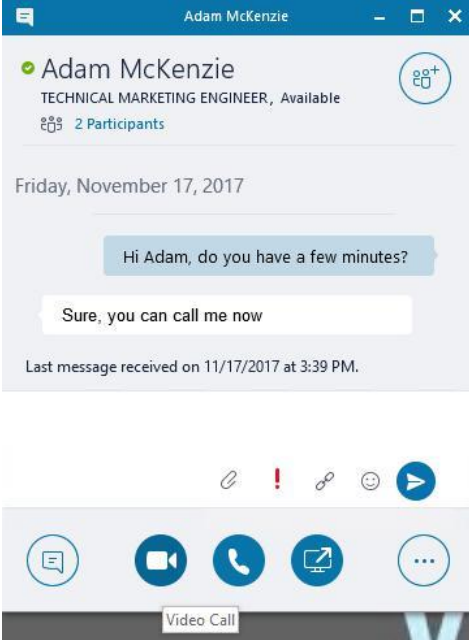
# シナリオ 1: Microsoft Skype for Business と Cisco Unified Communications の相互運用性

次のシナリオでは、XYZ Corporation が最近 ABC Company を買収したという状況を取り上げます。XYZ Corporation では Microsoft Skype for Business コミュニケーション ソリューションが使用されており、ABC Company では Cisco Unified Communications ソリューションが使用されています。Monica Cheng は XYZ のシステム エンジニアで、ABC Company のエンジニアである Adam McKenzie とともに合同プロジェクトで作業しています。Monica と Adam は異なるコミュニケーション技術を利用していますが、シームレスに連絡を取り合うことができます。

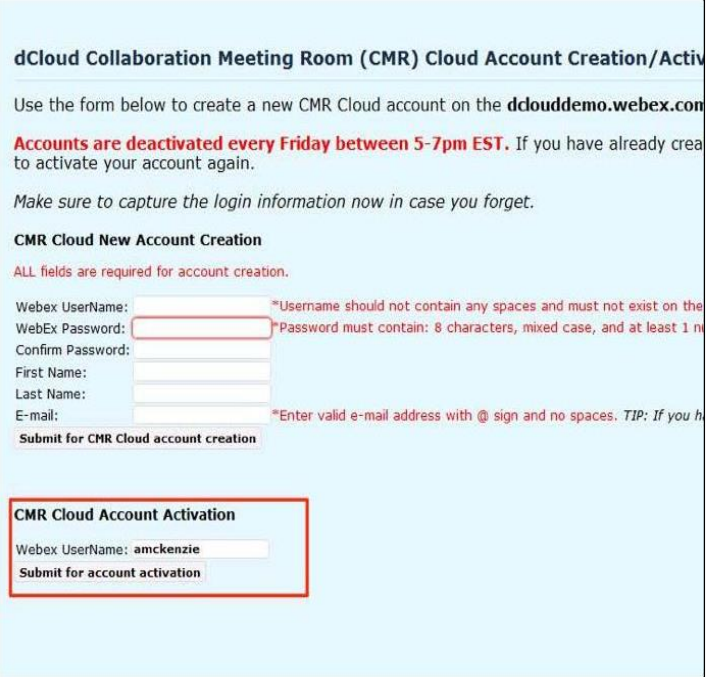

## デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>こんにちは。Monica Cheng と申します。システム エンジニアとして XYZ Corporation で勤務しています。私は Microsoft Skype for Business を使って、IM &amp; Presence、音声、およびビデオ会議で同僚とコミュニケーションをとっています。</p> <p>XYZ Corporation は、最近 ABC Company を買収しました。ABC Company では、Cisco Unified Communications ソリューションが使用されています。私は ABC Company にいる新たな同僚たちと仕事を始めていますが、彼らとはシームレスにコミュニケーションを取ることができます。その際、Microsoft Skype for Business と Cisco UC のどちらのクライアントを相手が使用しているか把握する必要はありません。</p> <p>私は ABC Company との合同プロジェクトで作業しており、主に連絡するのは Adam McKenzie です。それでは、私が Skype for Business クライアントを使用して、Adam とプロジェクトについて連絡を取り、プロジェクトにおける彼の成果の最新ステータスを把握する方法を説明します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注:</b> 記載の手順では、Workstation 1 で Adam McKenzie のオンプレミス ソリューションを使用します。MRA のデモンストレーションをご希望の場合は、「はじめに」の <a href="#">ステップ 8</a> で示しているように、Tanya Adams の Cisco Jabber デバイスをプロビジョニングする必要があります。</p> </div>	<p>Workstation 3 で (Monica Cheng として):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Workstation 3 (198.18.1.38) にユーザ名: <b>dcloud\mcheng</b>、パスワード: <b>dCloud12345!</b> を使用してログインします。Skype for Business を開きます。</li> <li>Skype for Business の検索バーで「adam」と入力します。<b>Adam McKenzie</b> を右クリックして、[連絡先リストに追加 (Add to Contacts List)] &gt; [dCloudの連絡先 (dCloud Contacts)] をクリックします。</li> <li>Workstation 1 で、[ステータス要求 (Status Request)] が表示されます。[連絡先一覧に追加 (Add to my contact list)] のチェックボックスをクリックし、Adam の連絡先に Monica を追加して、[許可 (Allow)] をクリックします。</li> </ul>  <p>The screenshot shows two windows. The top window is the 'Skype for Business' main interface. The 'My Contacts' list is visible, and a context menu is open over 'Adam McKenzie - Office - Office Messages Only'. The 'Add to Contacts List' option is selected, and a sub-menu shows 'Add to dCloud' as the chosen option. The bottom window is a 'Status Request' dialog box from 'Monica Cheng S48'. The 'Add to my contact list' checkbox is checked, and the 'Allow' button is highlighted with a red box.</p>

手順	説明の要点	操作
2	<p>こんにちは。私は Adam McKenzie です。私は ABC Company に勤務しています。ここでは、Cisco Unified Communications ソリューションが使用されています。</p> <p>Monica Cheng は XYZ Corporation のシステム エンジニアで、私は彼女と一緒に作業しています。私は Monica に、このプロジェクトでの私の担当部分の最新情報を報告することになっています。</p> <p>Cisco Jabber を確認すると、Monica のプレゼンス ステータスが [応答可能 (Available)] になっています。</p>	<p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まだログインしていない場合は、<b>198.18.1.36</b> の Workstation 1 に、ユーザ名 : <b>dcloud\amckenzie</b> およびパスワード : <b>dCloud12345!</b> を使用してログインします。</li> <li>ログインすると、Cisco Jabber for Windows クライアントが開き、ログインした状態になります。これでこのクライアントを使うことができます。クライアントが自動的に開かない場合は、手動で開きます。</li> <li>Cisco Jabber for Windows クライアントで Monica Cheng のプレゼンス ステータスを確認すると、[応答可能 (Available)] になっています。</li> </ul>  <p>The screenshot shows the Cisco Jabber application interface. At the top, it says 'Cisco Jabber'. Below that, the user's profile is shown as 'Adam McKenzie' with a status of 'Available' and location 'WKST1'. There is a search bar labeled 'Search or call'. Below the search bar, there are navigation icons for 'Contacts', 'Chats', 'Recents', 'Voice Messages', and 'Meetings'. The 'Contacts' list is expanded, showing several contacts with their status: Anita Perez (Away), Jim Li (Offline), Monica Cheng S4B (Available), Mukul Kumar (Offline), Nancy Fox (Offline), Sue Miller (Offline), Tanya Adams (Offline), Taylor Bard (Offline), and Walt Whitman (Away). The contact 'Monica Cheng S4B' is highlighted with an orange oval.</p>

手順	説明の要点	操作
3	<p>Monica Cheng として: Adam McKenzie のプレゼンス ステータスを見ると、応答可能であることが分かります。Adam に連絡して、プロジェクトの最新状況について教えてもらうことにします。</p> <p>Adam から、応答可能なので、少し話をしたいという返事があります。私は Skype for Business を使って、Adam へのビデオ コールを開始します。</p>	<p>Workstation 3 で(Monica Cheng として):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Skype for Business クライアント内で、Adam McKenzie をダブルクリックして、彼に IM を送信します。メッセージには次のように書きます。 <i>こんにちは、Adam。プロジェクトの最新状況を報告してほしいのですが、今、時間はありますか。</i></li> <li>Enter を押して、このメッセージを送信します。</li> </ul> <p>Workstation 1 で(Adam McKenzie として):</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco Jabber のチャット通知 [ Chats ] をクリックして、Monica Cheng からのメッセージをダブルクリックします。</li> <li>Monica の IM メッセージに「大丈夫です。コールをお願いします」と返信します。</li> <li>Enter を押して、このメッセージを送信します。</li> </ul> <p>Workstation 3 で(Monica Cheng として):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Skype for Business クライアントで、[ビデオコール (Video Call)] ボタンをクリックします。[ビデオの開始 (Start My Video)] をクリックします。</li> </ul> 

手順	説明の要点	操作
4	<p>Adam McKenzie として: 私はプロジェクトについて Monica と少し話したいと思っています。Monica から着信があったので、私は [応答 (Answer)] をクリックします。</p> <p>私たちはプロジェクトについて話します。Monica は自分のデスクトップを共有して、プロジェクトの彼女の担当部分に関する情報を表示し、それが私の設計に影響する可能性について説明します。</p> <p><b>価値提案:</b> Microsoft Skype for Business デバイスと Cisco UC デバイスの間で、インスタント メッセージのシームレスな送受信、ビデオ コール、デスクトップ表示の共有が可能です。どの操作も、両方のユーザが同じクライアントを使っているかのように簡単に行うことができます。シスコと Microsoft のハイブリッド環境は、機能やサービスを犠牲にしない効果的な運用が可能です。</p>	<p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Monica からのコールが着信したら、[応答 (Answer)] をクリックします。Cisco UC デバイスを利用している場合は、必ずこの物理エンドポイントでコールに応答してください。</li> <li>応答すると、両方のユーザのステータスが変更されます。ステータスが、Microsoft Skype for Business では [通話中 (In a call)]、Cisco Jabber では [通話中 (On a call)] になります。</li> <li><b>オプション:</b> Adam McKenzie 用のデバイスに Cisco EX、DX、または SX を使用している場合は、Workstation 3 に Microsoft Skype for Business からの画面共有が表示されます。</li> </ul> <p><b>Workstation 3</b> の Skype for Business クライアントで、[コンテンツの管理 (Manage Content)] ボタンをクリックして、[デスクトップの共有 (Share your Desktop)] をクリックします。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>コールを終了します。</li> </ul>

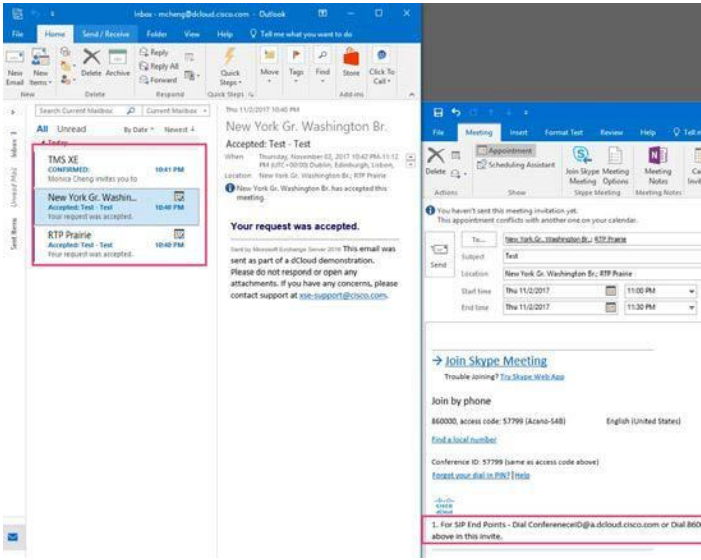
手順	説明の要点	操作
5	<p>(オプション: Adam McKenzie として):</p> <p>Cisco UC の新機能の中で、私が特に気に入っているのは、クラウドベースの CMR ブリッジです。社内外のユーザが私との会議に参加できるようにするために、自分用のブリッジを 1 つ作成する必要があります。私はブリッジを 1 つ設定し、Monica に、ダイヤル インしてこれらの機能をテストするよう依頼します。</p>	<p>(オプション): Cisco UC ユーザは、Skype for Business ユーザも参加できる CMR ブリッジを作成できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Workstation 1 から Web ブラウザを開き、[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] &gt; [クラウドCMRセットアップ (Cloud CMR Setup)] の順にクリックします。</li> <li>既存の <b>amckenzie</b> クラウド CMR アカウントを有効化するには、WebEx のユーザ名: <b>amckenzie</b> とパスワード: <b>dCloud12345!</b> を入力します。</li> <li>[アカウントの有効化のために送信 (Submit for account activation)] をクリックします。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>CMR ブリッジのアクティベーション後に<b>ホスト PIN</b> が示されることに注意してください。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>Workstation 3 で、Skype for Business クライアントを使用して、そのビデオ エンドポイントのアドレスにコールすることができます。その形式は、<b>username@dclouddemo.webex.com</b> のようになります。これにより、Monica はクラウドベースの CMR を使用して、Adam のエンドポイントに直接接続されます。</li> <li>Adam が参加するには<b>ホスト PIN</b> を入力し、Monica が参加するには <b>#</b> を押します。</li> <li>CMR 会議を終了して、退出します。</li> </ul>



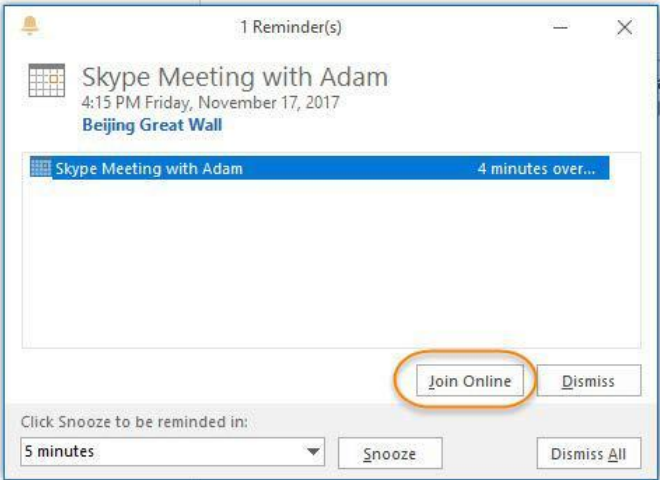
## シナリオ 2: Skype for Business を利用したワンボタン機能 (OBTP) による会議

このシナリオでは、XYZ Corporation がユーザを Cisco UC に移行します。Monica Cheng は今回移行されるグループに含まれています。

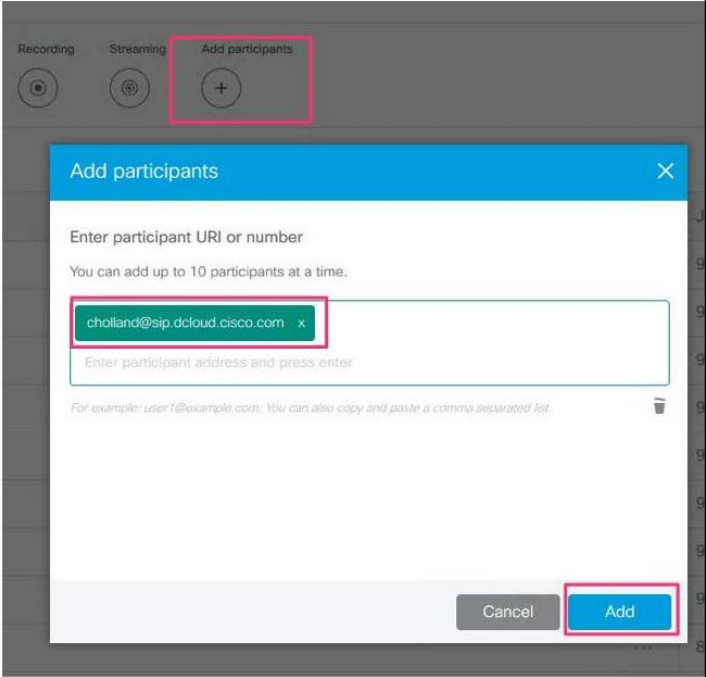
### デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>こんにちは。Monica Cheng と申します。システムエンジニアとして XYZ Corporation で勤務しています。私は Microsoft Skype for Business を使って、IM &amp; Presence、音声、およびビデオ会議で同僚とコミュニケーションをとっています。</p> <p>XYZ Corporation は、最近 ABC Company を買収しました。ABC Company では、Cisco Unified Communications ソリューションが使用されています。私は ABC Company にいる新たな同僚たちと仕事を始めていますが、彼らとはシームレスにコミュニケーションを取ることができます。その際、Microsoft Skype for Business と Cisco UC のどちらのクライアントを相手が使用しているか把握する必要はありません。</p> <p>私は ABC Company との合同プロジェクトで作業しており、主に連絡するのは Adam McKenzie です。Adam と私は、XYZ Corporation の本社にいる一部の関係者に、プロジェクトの最新状況について説明しようとしています。</p> <p>関係者は、自分のいる場所の近くの Cisco SX(または DX) ルーム システムが設置された会議室から会議に参加する予定です。TelePresence Meeting Server に、このルーム システムをその場所も含めすでに追加しているため、必要なことは、Microsoft Outlook 会議出席依頼の [ルーム (Rooms)] フィールドにルーム システムを追加するだけです。</p> <p>私は出席依頼先に Adam を追加し、[送信 (Send)] をクリックします。</p>	<p>Workstation 3 で (Monica Cheng として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まだログインしていない場合は、<b>198.18.1.38</b> の Workstation 3 に、ユーザ名: <b>dcloud\mcheng</b> およびパスワード: <b>dCloud12345!</b> を使用してログインします。</li> </ul> <p><b>注:</b>「はじめに」の <a href="#">ステップ 11</a> で説明したように、必ずルーム システムを TMS および TMSXE に接続しておいてください。また、OBTP は、MRA 登録デバイスでは動作しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Outlook で、[新しいアイテム (New Items)] をドロップダウンし、[Skype会議 (Skype Meeting)] をクリックします。</li> <li>[ルーム (Rooms)] をクリックし、登録した場所の中の 1 つを選択します。</li> <li>[宛先: (To:)] フィールドで、<a href="mailto:amckenzie@dcloud.cisco.com">amckenzie@dcloud.cisco.com</a> を追加します。</li> <li>任意の件名を追加して日付と時間を設定します。会議の開始時間を数分後に設定することをお勧めします。[送信 (Send)] をクリックします。</li> <li>ルーム エンドポイントから承認の電子メールと、会議のダイヤルイン情報の確認メールを受信するのを確認します。</li> </ul> 



手順	説明の要点	操作
2	<p>Monica として:</p> <p>Outlook 会議のリマインダから [オンラインで参加 (Join Online)] をクリックし、Skype for Business クライアントから直接会議に参加します。最初の参加者のため、他の人が参加するのを待ちます。</p> <p>関係者が会議に参加しました。会議の参加に必要なことは、ルーム システムで [参加 (Join)] ボタンを押すだけです。ラップトップを開く必要すらありません。これは、OBTP (ワンボタン機能) と呼ばれます。非常に使いやすく、時間を節約できます。</p> <p>Adam として:</p> <p>Monica からプロジェクト進捗会議の招待が送信されたことを確認します。電話会議の番号をダイヤルすると、Cisco Unified Communications デバイスから簡単に参加できます。参加者全員で高品質のビデオと音声共有され、会議は順調です。Monica は Skype for Business を使用しており、関係者と私は Cisco UC デバイスから参加しましたが、Cisco Meeting Server による仲介で高品質なデュアルホーム会議が実現しました。</p> <p>プロジェクト関係者が参加しようとしているため、私たちはコールを続け、参加するのを待っています。</p>	<p>Workstation 3 で (Monica Cheng として):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Outlook のミーティング アラームの [オンラインで参加 (Join Online)] をクリックし、Monica の Skype for Business クライアントから会議に参加します。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>会議が開始されると、ルーム エンドポイント上に、会議に参加するための [参加 (Join)] ボタン (ワンボタン機能 (OBTP)) が表示されます。関係者が参加する場合には、このボタンを押します。</li> </ul> <p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Outlook を開き、Monica からの招待を承認します。</li> <li>カレンダーの招待を開き、下部にある指示に従って、会議にダイヤルインします。Adam の物理 UC エンドポイントを使用することをお勧めします。物理エンドポイントがない場合は、Workstation 1 で Cisco Jabber for Windows を使用できます。これにより、Adam は Cisco Meeting Server のデュアル ホーム機能を使用して会議に接続します。</li> <li>ビデオ ストリームが動作していることを検証します。ただし、まだ電話を切つてはいけません。</li> </ul>

手順	説明の要点	操作
<p>3</p>	<p>Adam McKenzie として： テクニカル サポート エンジニアとして、私にはこの会議でもう 1 つの役割があります。注目度の高い会議であるため、会議の監視を任されています。私はこの会議を CMM (Cisco Meeting Manager) を使用して監視します。</p> <p>CMM を使用して、この会議に参加した全参加者、または会議を離れた全参加者、参加者がダイヤルした場所、ビデオおよび音声ストリームのジッターまたは遅延があるかどうかを監視できます。また、必要に応じて、参加者のミュート/ミュート解除、会議への参加者の追加/削除、参加者のカメラのオン/オフを行うこともできます。また、私は参加者の会議ビューのレイアウトを変更することができます。</p>	<p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Firefox を開き、[コラボレーション管理リンク (Collab Admin Links)] &gt; [Cisco Meeting Manager] を参照します。</li> <li>ユーザ名：<b>administrator</b>、パスワード：<b>C1sco12345</b> でログインします。</li> <li>左ペインから、[会議 (Meetings)] をクリックします。これで、Cisco Meeting Server (CMS) 上のすべてのアクティブな会議が表示されます。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブな Lync 会議 (前述の手順で参加した会議) をクリックします。すべての参加者、参加時刻、およびミュートまたはミュート解除などの操作が表示されます。</li> <li>任意の参加者をクリックして、音声、ビデオ、コール タイプ、オーバーレイなどの参加者の詳細を確認します。また、希望する場合、この会議の録画を開始できます。</li> </ul> 

手順	説明の要点	操作
4	<p>Adam McKenzie として： 私は、新しい参加者 Charles Holland を会議に追加する必要があります。CMM で、[参加者追加 (Add participants)] をクリックし、Charles のダイヤリング URI を入力して [追加 (Add)] をクリックします。ライブミーティングで簡単にこの変更を行うことができます。</p> <p>Charles Holland として： 優先度の高いプロジェクトの検討を続けている重要な会議があります。会議の開催者が進行をとめているので、この時点で開催者が私を追加することはできません。幸いなことに Adam McKenzie は CMM を使用しており、開催者の手を煩わせずに私を会議に直接追加できます。</p> <p>Adam が私を会議に追加すると、私のエンドポイントが呼び出されます。コールに応答するだけで、私は自動的に会議に接続され、会議に参加することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の詳細ページを閉じます。</li> <li>[参加者追加 (Add Participants)] をクリックし、<a href="mailto:cholland@sip.dcloud.cisco.com">cholland@sip.dcloud.cisco.com</a> を追加して &lt;Enter&gt; を押し、[追加 (Add)] をクリックします。これで、Workstation 5 の Charles Holland にダイヤルされます。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>Workstation 5 でコールに応答し、参加者リストが CMM で更新されていることを確認します。</li> <li>これですべてのデバイスで電話を切ることができます。</li> </ul> <p><b>注:</b>参加者を CMM から追加する場合は、画面共有が無効になります。これは CMM の既知のバグであり、今後のバージョンで修正されます。</p>

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2018年2月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先